

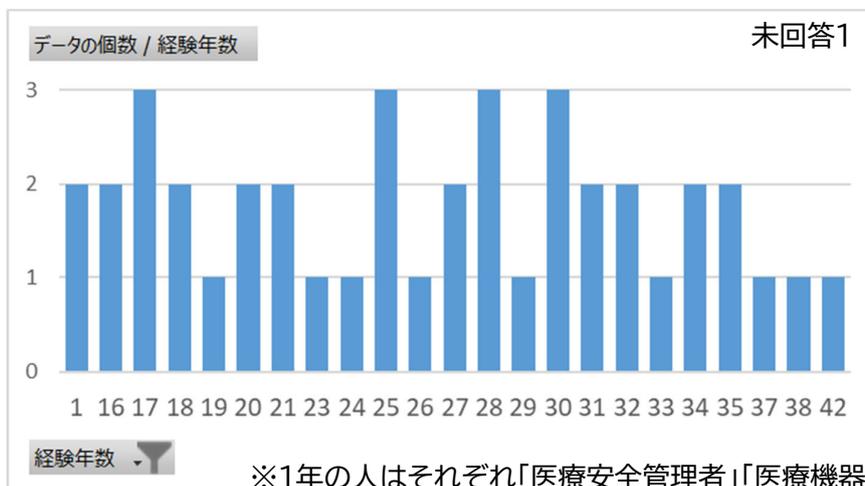
令和6年度第1回横浜市病院安全管理者会議 アンケート集計

令和6年9月18日(水)
横浜市庁舎 スペースA・B

参加者:43名(定員47名、4名業務都合により欠席)
参加施設:20病院
アンケート回収:42件

職種	医師	9 人
	看護師	20 人
	薬剤師	2 人
	放射線技師	4 人
	臨床工学技士	2 人
	事務	5 人

経験年数



院内での役割	施設管理者	2 人
	所属部署のリスクマネージャー	14 人
	医療安全管理者	19 人
	医薬品安全管理責任者	1 人
	医療機器安全管理責任者	3 人
	未回答	6 人

※複数回答3名
 ・「施設管理者」
 兼「医療安全管理者」
 ・「所属部署のRM」
 兼「医療安全管理者」
 ・「医療機器安全管理責任者」
 兼「医療安全管理者」

1. 人は誰でも間違える(バスケットビデオ)

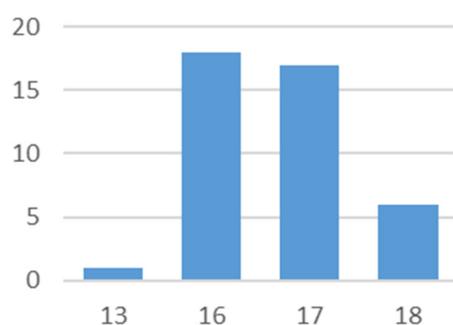
このビデオを見るのは
初めて 13名

生き物のようなものが…
見えた 6名
見えない 6名 ※未回答 1

見たことがある 29名

生き物のようなものが…
見えた 27名
見えない 2名

パスの回数



【チーム医療について】

2. チーム医療を現場で実践できていると思いますか？

とてもそう思う	6 人
そう思う	15 人
あまり思わない	21 人
全く思わない	0 人

3. チーム医療の推進に関し日頃困っていることがありますか？

とてもそう思う	13 人
そう思う	26 人
あまり思わない	3 人
全く思わない	0 人

【TeamSTEPPSについて】

4. 参加型の研修方法は良いと思いますか？

とてもそう思う	38 人
そう思う	4 人
あまり思わない	0 人
全く思わない	0 人

5. チーム STEPPS 研修は業務に役立つと思いますか？

とてもそう思う	33 人
そう思う	9 人
あまり思わない	0 人
全く思わない	0 人

6. 他人にも受講を勧めたいですか？

とてもそう思う	35 人
そう思う	7 人
あまり思わない	0 人
全く思わない	0 人

7. 同じ部署全体で研修を受ける必要があると思いますか？

とてもそう思う	26 人
そう思う	16 人
あまり思わない	0 人
全く思わない	0 人

8. 各内容で印象深かったと思う項目(複数可)

1) 指相撲 (メンタルモデルの共有)	37
2) バスケットボール (注意と不注意の共存)	14
3) 患者家族からのメッセージ	19
4) チームの鎖 (4つのコンピテンシーを実感)	20
5) ER ビデオ (各ツールの紹介)	26

9. チーム STEPPS のツールで今後実践してみたい項目(複数可)

1) 2回チャレンジルール	37
2) CUS・心不全	14
3) SBAR	19
4) ブリーフィング (打ち合わせ)	20
5) ハドル (途中協議)	26
6) デブリーフィング (振り返り)	20
7) ハンドオフ (引き継ぎ)	20
8) I PASS the BATON	8
9) チェックバック (再確認) ・ 3way コミュニケーション	31

10. 研修を通しての気づき、思ったこと等

- TeamSTEPPSは少し苦手に思っていました。何度か繰り返し受講し、また本来であれば自施設で中心となり行っていく立場であるため「やらなきゃ」「やれるかも」と思うようになりました。
- もっと多くの方々に参加してほしいと思える内容でした。
- TeamSTEPPSの研修には何度か参加していますが毎回振り返ります。チームでゲームを行い、体感して学ぶことができました。
- 自施設でも導入していけたらと思い参加させていただきました。菊地先生のお話がうまく惹かれました。自施設で上手くできるか不安です。
- 対面の研修は非常に学びになります。顔見知りになれる利点があります。
- 菊地先生の講義は2回目です。復習になりました。ビデオのようなHPチーム作りを目指します。
- 改めてTeamSTEPPSをじっくり学ぶことができとても学びの多い有意義な時間でした。参加型の研修の良さを再確認いたしました。ありがとうございました。
- 業務に役立てられ、他スタッフと共有したい。
- 自施設で発生しているインシデントの中で本日学んだTeamSTEPPSができていると発生しなかったと思える内容でした。

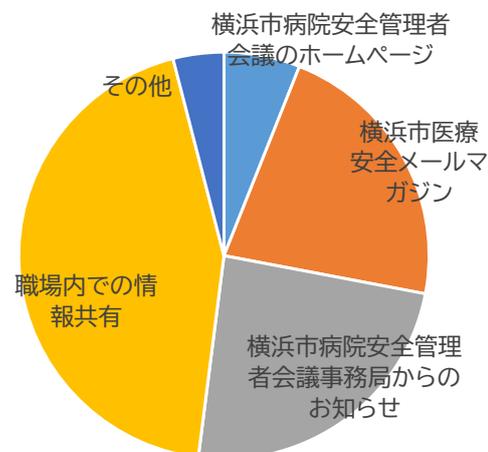
- 日常の業務を振り返り、本日の研修を役立てたい。また、インシデントレポートの分析にも役立てたいです。
- TeamSTEPPSを導入したいと思っていました。改めて研修を受けて、できるところからでも取り入れられるのではと思えるようになりました。ありがとうございました。
- 自身が事務職でも、みなさんと協力して研修できてとても有意義な時間でした。
- TeamSTEPPS研修を以前に受けている経験がある人たちに向けて導入での注意があるとなおよかった。
- 当院でTeamSTEPPS研修を年3~4回開催していますが、要点を明確に伝えること・タイムマネジメントなど参考にしてやっていきたいと思いました。
- 参加型が不得意なのですが、和気あいあいと楽しい研修になりました。
- 参加型研修、はじめは緊張したが最終的には良かったと思った。
- 参加型(グループワーク)は分かりやすくてよいと思う。面白かったです。
- 研修で学んだことが、職場の仲間が自然とできるようになることが必要と思います。まずは、各部門のリーダーにしっかり伝えていきたいと思います。
- チームの鎖はとてもよいと思いました
- 自分の思い込みが自由な発想を妨げている。・注意と不注意は共存するのでチームで乗り越えることが重要という考え方は新鮮でした。

- TeamSTEPPSの研修を受けたのは2回目だが、チームトレーニングの重要性を学ぶことができた。協力の得にくい職種にどう伝えるか考えたい。
- 自施設で生かしたいと思っています。実践では難しいのですが、ヒントは得られたような気がしています。具体的な手法については次の研修で知りたいと思いました。
- 2回チャレンジやチェックバック等、すぐにでも実践できるツールを知ることができてよかった。鎖の強さは一番弱い輪の強度で決まるというのが印象的だった。
- 医療安全講習で学んでいたが、チームでのゲームなど実践することでコミュニケーションやチーム環境(風土づくり)等の大切さが学べた。
- ワークを通して、自分は声を出してヘルプできないことに気づいた。思っていることをその場でタイムリーに伝えるための訓練が必要だと思った。病棟のみんなにも伝えたい。
- グループでの役割が気づきになり、業務でも伝えていきたい。
- 医師との協働が難しいですが、あきらめずにチャレンジしたい。
- 共同で何かを行うことの難しさ・コミュニケーションの大切さ・楽しい空気が重要！
- 心理的安全性の確保が難しい。CUSを実践するために、話したいことを言える環境が大切だと思った。
- 業務を行う個人として、非常に勉強になり、実践できる内容と考えたときに自分もTeamSTEPPSの必要な業務をしていると気がひきまりました。

- 時間を感じさせないほど有意義な研修でした。また違うアプローチからのチームステップス研修を受けてみたいです。
- 弱いところを強くするコミュニケーションをとる。
- スタッフ全員が共通認識を持つことが大切と思いますが、それが難しいとも感じます。
- 伝えることの重要性を学び、伝える方と受ける方のコミュニケーションはとても大切だと思いました。
- 管理者の理解がまず大前提である。・提案を受ける側の理解につきると思う。
- 気づいているのに発信しない、できない？2チャレンジやCUSを使ってみたい。
- 現場での具体的な取り組みをビデオを見て、自身の部署と比較できた。業務とは離れたコミュニケーションの大切さを実感でき、楽しみながら学べた。体験型は理解しやすい。
- チームとして、個人のスキル・情報共有・心理的安全性などの重要さを改めて感じました。
- 当院でTeamSTEPPS研修を行っているが医師が参加してくれない。医師が積極的に参加してもらえる方策があるといいのですが…。
- TeamSTEPPS初めて研修を受けました。日々の診療に潜在するリスクを回避するために全員の注意し続ける姿勢が大切だと再認識しました。

11. 今回の講演会が開催される事を、何で知りましたか。 (複数回答可)

横浜市病院安全管理者会議のホームページ	3
横浜市医療安全メールマガジン	11
横浜市病院安全管理者会議事務局からのお知らせ	12
職場内での情報共有	22
その他 「看護部会からのお知らせ」 「区医師会FAX」各1件ずつ	2



12. 横浜市病院安全管理者会議に参加したことがありますか。

はじめて	28
ある (2回目)	10
ある (3回目以上)	4

初めての方が半数以上！

医師	6
看護師	15
薬剤師	1
放射線技師	3
臨床工学技士	1
事務	2

3回以上

医師	2
看護師	1
事務	1

2回目

医師	1
看護師	4
薬剤師	1
放射線技師	1
臨床工学技士	1
事務	2

13. 横浜市病院安全管理者会議で取り上げてほしいテーマ、今回の感想、その他ご意見・ご要望等

📌今後取り上げてほしいテーマ

- インシデントの振り返りの仕方・分析方法など
- インシデントの分析方法(事例を使って具体的にやってほしい)
- インシデント報告の発表
- コミュニケーションの具体例
- 医療事故の際に医療安全管理者としての対応
- ヒューマンエラーについて他業種から学ぶ
- 災害レジリエンス能力を上げる
- 心理的安全性 × 2
- 毎年TeamSTEPPSをやっていたら、別のスタッフに参加させたい。
- 医療安全に関する研究で統計や研究計画が難しく感じます。このあたりのご指導をいただければ嬉しいです。

13. 横浜市病院安全管理者会議で取り上げてほしいテーマ、今回の感想、その他ご意見・ご要望等

📌その他感想

- 楽しく研修できました。ありがとうございました。
- このような研修を企画していただきありがとうございました。
- 横浜市の安全管理者の方にあえてとても心強い研修でした。
- 初めてお会いした方たちととても楽しく実践でき、学ぶことができました。ありがとうございました。
- TeamSTEPPS楽しく参加できました。ありがとうございました。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。院内での研修につなげられるようにしていきたいと思えます。
- 非常に楽しかったです。ありがとうございました。